

今年度の広報活動計画

自動車アセスメントの広報活動等

【評価結果発表】

- ・昨年度と同様に、評価結果が確定次第、HP、Facebookにより随時公表を行うと共に、プレスリリースを実施する。
- ・2022年度評価に係る自動車アセスメントのファイブスター賞等の表彰については、今年度と同様に来年度実施する。

【普及イベント等】

○メディア向け広報イベント（報道公開）：

- ・自動車アセスメントについて正しく理解・情報発信をしてもらうため、試験・評価方法の新規導入や改定内容等についての体験・説明会の実施可否を新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえつつ検討。
- ・令和4年度から新たに開始する被害軽減ブレーキ（対自転車）試験・評価について、メディア関係者向けに説明を行う。（10月予定）
 - 被害軽減ブレーキ（対自転車）試験の概要説明
 - 被害軽減ブレーキ（対自転車）試験のデモンストレーション
 - 対応車両への体験試乗

○一般向け広報イベント：

- ・NASVA各主管支所：新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえつつ、引き続きパンフレット設置の働きかけ等の様々な取り組みの他、今後も新たな取り組みについて可能性を探りながら実施していく予定。
- ・NASVA本部：新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえつつ、自動車アセスメントに係る広報イベントの実施可否を検討。
- ・マタニティ&ベビーフェスタ（4月）
パシフィコ横浜で開催された「マタニティ&ベビーフェスタ2022」のセミナープログラムに出展、一般の来場者に対して自動車アセスメント、チャイルドシートアセスメントの概要説明の他、ISO-FIXチャイルドシートを用いた取付デモンストレーションや装着体験を実施。参加者は乳幼児の安全に意識が高く、ISO-FIXチャイルドシートへの関心も高かった。

○一般向け広報活動：

- ・昨年度に引き続き、自動車アセスメントメイキング映像を作成し、広報活動に活用することを検討。題材としてはチャイルドシートや予防安全試験から候補を検討。
- ・引き続き“妊婦向け子育て情報アプリ(スマホ)”に自動車等アセスメント情報の広報記事を掲載し、広報活動に活用することを検討。（資料2-2）

○その他：

- 東京都が自主作成した動画への映像提供
運転免許の自主返納、サポカーへの移行を目的とした「高齢運転者交通安全対策普及啓発動画」に、アセスメント試験映像を提供。令和4年度夏、冬の計2回、都内病院施設等で放映される予定。